

レバノンにおける新型コロナウイルス感染者の発生

2020. 2. 21

ポイント

- 2月21日(金)、レバノン保健省は国内で初となる新型コロナウイルスの感染者1名が確認されたと発表しました。
- 常に最新の情報を収集するとともに、手洗い、うがい、咳エチケットの徹底など感染予防に努めてください。

内容

2月21日(金)、レバノン保健省は国内で初となる新型コロナウイルスの感染者1名(レバノン人女性、45歳)が確認され、また感染の疑いがある者が2名存在する旨を発表しました。同人はベイルート郊外のラフィーク・ハリリー病院において治療を受けている模様です。

同人は20日(木)にイランのコムから航空便でベイルートに到着したとされており、同人と同じ航空便を利用した200人以上の乗員乗客に対して2週間の自宅待機措置が取られています。

レバノン保健省は緊急事態を宣言する必要はないとし、国民に対して冷静に対応し、手洗いやマスクの着用等の予防策を徹底するよう呼びかけています。

レバノンに渡航、滞在中の皆様におかれましては、厚生労働省、世界保健機関(WHO)及びレバノン保健省のウェブサイト等を参考に常に最新情報の入手に努めてください。症状が確認された場合はレバノン保健省の専用ダイヤル76592699にまで連絡してください。

また、新型コロナウイルスは風邪と同様にせきやくしゃみなどの飛沫で感染するとされていますので、手洗い、うがい、咳エチケットの徹底、なるべく人混みを避ける等の基本的な感染症対策に努めてください。

当館においても感染拡大を防ぐため、来館される方々に対し、発熱(必要に応じ検温)、風邪症状(咳、喉の痛み、倦怠感など)の質問、消毒液(入り口設置)による手の消毒の励行をお願いしております。当館にお越しになる前日に体調不良(発熱、風邪症状)等がございましたら、来館日を改めて頂くか、緊急の場合には事前に当館担当者にご連絡いただきますようお願いいたします。

【参考】

■厚生労働省

○新型コロナウイルスに関する Q&A

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/dengue_fever_qa_0001.html

○感染症情報

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/index.html

○咳エチケット

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000187997.html>

○新型コロナウイルス感染症対策の基本方針

<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000599698.pdf>

■世界保健機関（WHO）

<https://www.who.int/health-topics/coronavirus>

<https://twitter.com/who>

■レバノン保健省（Ministry of Public Health）

<https://www.moph.gov.lb/en>

専用ダイヤル： +961-76592699

邦人の方の感染にかかる情報及びご不明な点がございましたら下記の連絡先までご照会ください。

●在レバノン日本国大使館

代表電話番号： +961-(0)1-989751～3

領事直通： +961-(0)1-989856/01-989855

領事携帯： +961-(0)3-366018/03-345977

領事緊急： +961-(0)3-362540

F A X 番号： +961-(0)1-989754

このメールは、在留届にて届けられたメールアドレス及び「たびレジ」に登録されたメールアドレスに自動的に配信されております。

「たびレジ」簡易登録をされた方でメールの配信を停止したい方は、以下のURLから停止手続きをお願いいたします。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/delete>